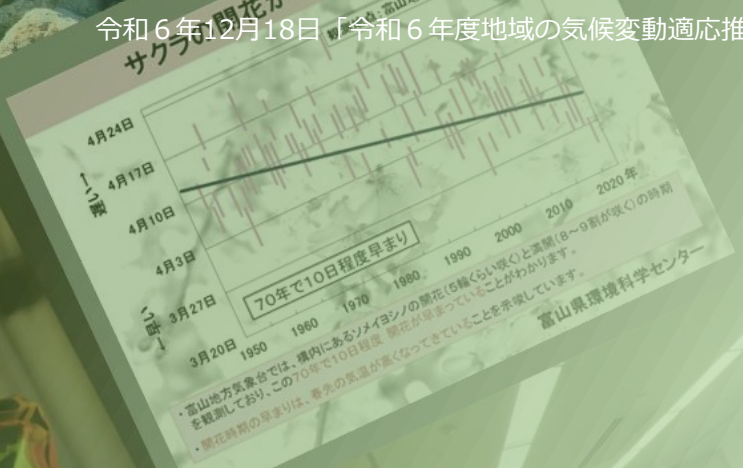


富山県気候変動適応センターの 地域と進める適応の取組み



ゴシヒカリ

富富富

富山県気候変動適応センター

移動平均
...り差が見えないがだんだん...
...まってくる。

- 富山県環境科学センターについて
- 地域気候変動適応センターとしての取組み
- 国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務について
- 地域のハブとしての役割を担うために

組織及び職員数

総務課、大気課、水質課、生活環境課
正規職員：25名（令和6年4月1日現在）



- 昭和45.6 公害センターを設置
- 昭和47.8 現在地に新庁舎完成、移転
- 総務課、大気課、水質課、特殊公害課
- 平成6.4 環境科学センターに名称変更
特殊公害課を生活環境課に名称変更
- 令和2.4 富山県気候変動適応センターを設置
.10 環境楽習室「エコ・ラボとやま」設置

役割

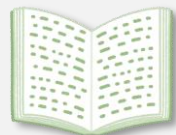
富山県の快適で恵み豊かな環境の保全と創造に向け、
環境基準の適合状況を把握する「**環境調査**」、規制基準の順守状況等を確認する「**監視指導**」、
地域特性や行政ニーズに対応した「**調査研究**」などを行う

- 基本の三本柱
- 源流は公害問題
- 分野別・領域別

適応

教育

- 新たな柱
- 地球環境問題への対応
- 分野横断



情報交換・情報提供

富山県気候変動適応研究会の開催／ニュースレター・ウェブページを活用した広報



調査研究

気候変動の専門的知識を有する職員を有する

果樹晩霜害の適応策検討に資する多面的気象観測調査（適応型）
／気候変動影響検出を目的としたモニタリング体制の構築（適応型）
／立山の融雪モニタリングによる気候変動の影響の評価／
温暖化による降雪の将来変化と消雪用地下水への影響／暑さ指数（WBGT）に関する研究
気候変動による富山県の水・栄養塩循環への影響評価と適応策検討（環境省推進費）
富山県における気候変動の予測評価（RECCA）



普及啓発

他の機関等のイベントに参加

環境楽習室「エコ・ラボとやま」を活用した普及啓発（ダジック・アース）
／温度計づくり等工作／小・中・高・大での授業



これらの業務をセンター全員で分担

- ・ 適応等に関する情報収集・広報啓発
- ・ 適応等に関する技術的助言
- ・ 適応等に関する調査研究推進



施策支援

富山県カーボンニュートラル戦略

環境省

富山県環境科学センター

1年目：地域住民を巻き込んだ気候変動影響に関する情報の収集・分析

○学校、農業・水産業団体との連携によるアンケートを行い、気候変動影響が大きい分野を抽出
⇒**日本なしの凍霜害が影響ありそう**



2年目：優先的に対応が求められる気候変動影響について詳細な情報収集・将来予測の準備

○日本なし
⇒文献調査：冬期の気温上昇による耐凍性の低下が示唆
農協、富山農林振興センター、県果樹研究センターの協力を得て、現地調査計画の立案



3年目：気候変動影響に関する将来予測計算の実施と適応オプションの整理

- 1 日本なしの凍霜害に係る将来予測
日本なしについて、気候変動による発育ステージの早期化が予想されることから、将来の気候変動に伴う凍霜害リスクの変化を予測
- 2 日本なしの凍霜害リスクに対する気候変動適応オプションの整理・集約
日本なしの凍霜害対策に係る適応オプションを整理



国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務について

(1) 実測データの確認

- (2) 凍霜害危険度予測モデル及び生育予測モデルの適用・精度検証
- (3) 予測モデルの補正検討

(4) 将来リスクの予測

凍霜害危険度予測結果

精度検証

過去の凍霜害発生データ

出力

精度向上

凍霜害危険度予測モデル

生産者さんと連携
・ヒアリング
・圃場で観測

過去の気温データ
・実測値
・アメダス等



生育ステージ予測モデル

出力

精度向上

発育ステージ予測結果

精度検証

過去の発育ステージデータ



専門家からのヒアリング

将来の気温データ
日本域バイアス補正
気候シナリオデータ

凍霜害危険度予測結果

統合

凍霜害将来リスク予測結果

生育予測結果

結果の公表は関係者と連携

生産者さんに記録を依頼

全体イメージ図

【生産者との意見交換（調査前）】

もちろん調査に協力的ではあるが、ちょっと懐疑的（環境科学センターって何？）

【生産者との意見交換（調査中）】

凍霜害の被害状況だけでなく感覚的なものもヒアリング

○霜が降りやすい畑がある

○冷気の通り道があるんじゃないかな？

伝聞や感覚的なものが多い

【生産者との意見交換（調査後～現在）】

伝聞・感覚的なものをデータ化することで、指導者・生産者の信頼を得ることができた

○連携体制の構築・強化！

結果の公表方法は慎重に

○生産者のやる気を削ぐことも…

○必ず関係者と協議を！



指導者との意見交換（果樹研究会）の様子



農家の方々との意見交換の様子

地域のハブとしての役割を担うために

ハブ（コンシェルジュ）

気候変動適応に係るよろず相談窓口。内容に応じて関係機関に繋ぐ役割も果たしている。

総合マネージャー

企画・立案・計画ができる、他部局まで含めた適応の総合マネージャー的な役割（関係者のネットワークづくり、研究と行政とのコーディネート等）。最後まで適応策の実践を調整したり情報提供を行う。

地域気候変動適応センター業務ガイドブック（案）より

○地域の特性は気温などのデータだけでは見えてこない。地域の方からの**生の声**が重要。

○その中で本当の課題は何なのかを**共に考え**、見極めるのも重要。

○一方で、地方環境研究所もマンパワー不足（異動もあり適応センターは兼務。。。）

今回のイベントのように色々な場所に出向くことがきっかけになることも！

○国や大学等研究機関、庁内、センター内(!)、市民との連携が重要で、色々な人を巻き込んで（巻き込まれて？）行くことが重要

大学のゼミを活用したニュースレターの作成、庁内広報の連携、環境以外のイベントへの参加 etc…